

北九州市立大学の新学部について

1 これまでの経緯

令和5年4月 助成事業公募開始

7月 助成事業選定

令和6年1月30日 大学から市へ

「北九州市立大学新学部設置について」要望書提出

(内容：小倉都心部での設置)について、市に協力を要請)

2月26日 旦過市場との大学連携等に関する意見交換会(旦過市場主催)

3月15日 旦過市場から、大学及び市へ「旦過市場の今後の
にぎわいづくりにかかる北九州市立大学との連携強化に
ついて」要望書提出

(内容：旦過市場での新学部設置や組合活動、

にぎわいづくりなどの地域活動面でのより一層の連携推進)

3月21日 総務財政委員会への報告

2 大学が求める要件等

(1) 施設要件

- ①延べ床面積が、概ね4,000㎡(収容定員：472名)
- ②教室に採光できる基準値以上の窓があること【建築基準法】
- ③建物が耐火建築物であること【建築基準法】

(2) 大学の新学部運営に必要な要件

- ①地元のIT企業等との連携(ジョブ型インターンシップ等)が促進できる
小倉都心部での立地であること
- ②北方キャンパスとの移動が容易であること
- ③交通アクセスが良好で、学生にとって利便性の高い環境であること

(3) その他

開設時期：令和9年4月 など

3 今後の対応

今後は、大学による設置場所の早期決定に向け、必要な支援を行いながら、関係者と協議を行っていく。

参 考

1 新学部の概要（予定）

- (1) 学部名 （仮称）情報イノベーション学部
入学定員 118名（収容定員 472名）
- (2) 学科名・養成する人材
 - ア （仮称）情報エンジニアリング学科（入学定員68名）
⇒情報工学の先端技術を駆使する高度人材
 - イ （仮称）共創社会システム学科（入学定員50名）
⇒GX 推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材
- (3) 学 位 学士（情報工学）
- (4) 開設時期 令和9年4月

2 新学部の特色（予定）

実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開する。

具体的には、市内企業との連携のもとで、以下の教育プログラムを実施する予定。

- (1) 実際のビジネス課題をもとに行う課題解決型学習
- (2) 学生が長期で市内企業の日常業務に就き、専門的な職業経験を積むジョブ型（長期型）インターンシップ
- (3) 起業マインドを醸成し、起業に関する専門知識等を学ぶアントレプレナーシップ教育
- (4) 地元企業の技術者・専門家による講義 等

3 大学の要望

○北九州市立大学から北九州市に要望書の提出（令和6年1月30日）

連携企業とのアクセスが良く、北方キャンパス間の移動が容易であり、小倉駅等主要な交通拠点からのアクセスが良いことから、

「IT 企業等が集積する小倉都心部（できればモノレール旦過駅周辺）に新学部校舎の設置」を希望している。

4 旦過市場からの要望

○旦過市場関係者から北九州市及び市立大学に要望書の提出（令和6年3月15日）

「北九州市立大学新学部の旦過市場内（BC 地区）への設置」、

「組合活動やにぎわいづくりなどの地域活動面でのより一層の連携推進」を希望している。